



富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、このあたりには「井戸尻(勝坂)文化」と呼ばれる独特な暮らしがありました。中部高地・多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地で発見された、石器、土器、土偶や、土地の芸能、祭りなどから、その文化にふれ、世相による縄文時代像の変遷にいたるまで学んでいます。

講師(案内役) 紹介 藤森寛行 (スワニミズムミシャグジ探偵)
 日野市立児童館非常勤職員
 早稲田大学文学部卒業 故郷諏訪の郷土研究会、スワニミズム Suwa-Animismで、
 諏訪信仰と縄文時代中期の井戸尻・勝坂文化について研究している。



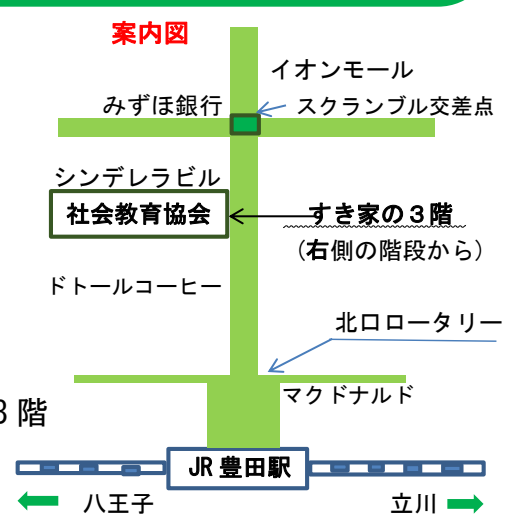
勝坂遺跡出土の人面装飾

今回の講座のテーマ

「勝坂式」・「井戸尻文化」・「富士眉月弧文化圏」とは

- ① 8/20(土) 井戸尻考古館研究 (おらあとうの考古学)
- ② 9/17(土) 井戸尻考古館にて火起こし縄文鍋 - 費用別途 -
- ③ 10/15(土) 勝坂遺跡
- ④ 11/20(日) 勝坂遺跡公園 秋の遠足会 - 費用別途 -
- ⑤ 12/17(土) 相模川・桂川流域の縄文時代

時間 10時～12時 第③土曜日
 場所 社会教育協会「ゆうりか」
 (JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)
 受講料 6,110円 全3回 (保険料・消費税含)
 申込み 下記の電話か FAX でお願ひします
 TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626
 対象 どなたでも
 主催 公益財団法人 社会教育協会
 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階
<http://www.zaidan-shakyo.org>



※ 新型コロナウイルスの状況により、変更させていただく場合もあります。